

学校再開時の子ども支援チェックシート

新型コロナウイルスによる休校措置により、子どもたちは学校に行けない日々が続いていました。この間、子どもたちなりに自粛生活に適応し過ごしてきました。3か月が経過し、学校再開になった時に、子どもたちにとっては、また新しい環境への適応が求められている状況になります。学年末から学年初めという学校生活の中で最も重要な時期の休校で、先生とも友達とも十分人間関係が築かれていない中での学校生活をスタートしなければなりません。

加えて、今後も新型コロナウイルスの感染状況によっては再度休校措置が取られることも想定しておかなければなりません。そのため子どもたちは、短い期間に、度重なる環境の変化を経験し、その都度、適応しなければいけない状況におかれていることを前提として対応してください。

すぐに学校に通う生活に戻れる子どももいれば、そうでない子どももいます。教室で授業を受けることに戸惑いを感じる子どももいるでしょう。何度も繰り返される環境の変化に疲れてきている子もいるでしょう。また、今後も自分自身、大切な周囲の人の感染に不安を抱えている子どもやご家庭の存在も忘れてはなりません。感染を恐れて学校を休ませるご家庭もあるでしょうし、登校しても不安な子どもも多いかもしれません。

そのため、学習の遅れを取り戻すことだけでなく、急な変化を繰り返し体験している子どもたちの気持ちに寄り添い、学習面・生活面での支援を行ってください。

以下に、学校がチームで支援するためのポイントについて示します。項目については、学年や学校で協議し、追加・修正を行うなど、状況に応じて活用してください。



1. 子どものストレスサインを知り、丁寧な見守りと早めの声掛けをしましょう。気になる現れがあったら、養護教諭やスクールカウンセラーと情報共有をしてください。

からだの反応

- ・夜眠れない、途中で起きてしまう、朝なかなか起きられない
- ・食欲がない、あるいは過食になる
- ・体の痛みやかゆみを訴える
- ・夜尿が始まる、あるいは増える
- ・以前は見られなかったチックが出たり、激しくなったりする
- ・腹痛や下痢・便秘を訴える
- ・頭痛を訴える

表情や会話

- ・ぼんやりしている
- ・ささいなことで泣く
- ・元気がない
- ・笑わなくなる
- ・喜怒哀楽が激しい、あるいは無表情になる
- ・家族、学校や友達のことを話したがる
- ・一方的に話し、会話が成立しない

学校生活の様子

- ・学校に行きたがらない
- ・遅刻・欠席が目立つ
- ・休み時間などに友だちと離れて一人である
- ・学級に馴染めていない
- ・学習への意欲が乏しくなっている
- ・課題の提出が滞る

行動面・生活面の変化

- ・家に閉じこもりがちになる
- ・好きなことでもやりたがらない
- ・何度も手を洗ったり、少しの汚れで着替えたりする
- ・ささいな物音に驚く
- ・親のそばから離れない、強い甘えがみられる
- ・一人になるのを怖がる
- ・落ち着きがない
- ・反抗的な態度をとる
- ・些細なことで物を壊したり、人に攻撃的になったりする

2. 短い時間で良いので、新しい担任として、持ち上がりの場合も新学年の担任として、個別に子どもと話す時間を持ってください。子どもが安心して話ができる雰囲気、「心配している」気持ちが伝えながら、以下の点について話題にしてみてください。学校として、「心の健康チェック」的なアンケートを実施した場合には、それを基に話をしてください。

	項目
	就寝時間と起床時間（例：生活リズムはどんな感じですか？）
	睡眠（例：寝つきは良いですか、途中で起きたりしていませんか、朝すっきり起きられていますか？）
	食事（例：3食食べていますか、量はこれまでと比べてどうですか？）
	今日の気分（例：今日の気分は？）
	家での生活の中での楽しみ（例：家にいてどんなことが楽しかった？：テレビ番組でもゲームでも本でも）
	学校再開に向けて心配なこと（例：今、心配だなと思っていることはある？）
	話したいこと・聞いてみたいこと（例：今、何か話したい・聞いてみたいことはある？）
	気分転換（例：いやだな、つらいなと思ったとき、どんな気分転換していた？）
	教師や家族への希望（例：先生や家族にして欲しいことは何かある？）

3. 生徒指導部会などの場で、学校体制について確認をしましょう

- ・ 学校構成員の感染状況
- ・ 休校期間中の学習の実施状況（教材配布・動画配信・オンライン教育など）
- ・ 休校期間中、生徒指導部会にあげられていた子どもへの対応状況
- ・ 保健室への来室状況
- ・ 子どもと担任とのやり取りについての現状把握（連絡帳や交換日記の活用など）

OSCが学校と共有すべき点

- ・ 相談体制の確認（コロナ感染症対策を行ったうえで、児童生徒や保護者が安心して相談できる体制を整えるために、当該校ではどのような相談、支援が実施可能か具体的に話し合う）
- ・ コロナに関連した当該校のニーズに沿った心理教育、アンケートの実施が可能かどうかの

確認

- ・ 継続的に支援を行っていた児童生徒への支援の再開（感染予防を徹底して）
- ・ SC通信の発行（SCの広報活動の他、コロナに関連した予防啓発的な意味合いも込めた内容を含んだもの）

4. 地域や関係機関の状況を確認しましょう

- ・ 地域の感染者の状況
- ・ 医療機関の状況と連絡方法の確認
- ・ 児童相談所との連絡方法の確認
- ・ 公的相談機関の開室状況、連絡方法の窓口